

# KATO Report

第127期 中間報告書 2025/4/1 ▶ 2025/9/30

**KATO** 株式会社 加藤製作所 証券コード：6390

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第127期中間期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。



代表取締役社長

加藤 公康

## ■ 上期（2025.4月～2025.9月）の振り返り

新中期経営計画の初年度となる今期は、テーマ『飛躍、そして次の時代へ』のもと、「企業価値の向上」「成長戦略の推進と有効投資」「収益性の更なる向上」「サステナビリティ経営の実践」の4つの基本方針に沿って、各施策を着実に進めてまいりました。

上期の業績につきましては、特に国内では高価格帯大型クレーンの本格販売が期初より可能となったことや、製品全般の販売価格の改善、一部油圧ショベルの弾力的な販売施策が奏功し、売上高は前年同期比で増収となりました。

一方、海外では、中国事業の見直しに加え、米国・欧州市場の低迷が続いたことから、売上高は前年同期比で減収となりました。

損益面については、中長期的な視点から製品棚卸資産の適正化や、補用部品等の長期在庫に対する評価損の計上など、財務基盤の強化に取り組んだ結果、厳しい数字となりました。

また、海外ポートフォリオの見直しとして、欧州事業強化のためのイタリア子会社の資本増強、中国子会社の持分譲渡手続の進捗に加え、インドでは現地企業との合併会社設立に向けた準備を進めました。

## ■ 下期の取り組みについて

下期につきましては、急激な事業環境の改善は見込みづらいものの、売上確保を図りつつ、特に国内では生産効率の向上、海外ではインド事業の立ち上げに注力し、さらに当社主力製品であるラフテレーンクレーン新シリーズの第1弾「SL-250RV」を市場投入することで、売上拡大へとつなげてまいります。

なお、2025年11月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2026年3月期の通期売上高は前回予想どおり確保できる見通しです。

一方、損益につきましては、海外ポートフォリオ健全化の進捗を踏まえ、課題として認識している棚卸資産の適正化に伴う生産調整の実施や、補用部品等の長期在庫に対する一過性の評価損計上により、前回予想を下回る見込みとなりました。

しかしながら、親会社株主に帰属する当期純利益は、棚卸資産適正化の影響を織り込んだうえでも黒字を維持できる見通しです。

中間配当につきましては、2025年3月27日に公表した中期経営計画の株主還元方針に沿い、1株あたり35円（通期70円の予想）とし、変更はありません。

今後も、当社グループの企業価値向上および持続的成長に向けた取り組みを進めてまいりますので、株主の皆さまには変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

通期連結業績予想の修正について／連結業績ハイライト

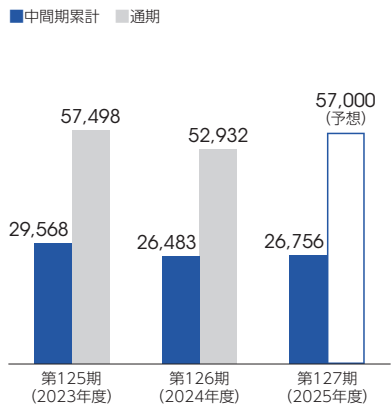
通期連結業績予想の修正について (2025年4月1日～2026年3月31日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	57,000	1,700	1,200	1,200
今回修正予想 (B)	57,000	△ 500	△ 1,000	200
増減額 (B-A)	—	△ 2,200	△ 2,200	△ 1,000
増減率 (%)	—	—	—	△ 83.3
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	52,932	903	1,401	△ 6,033

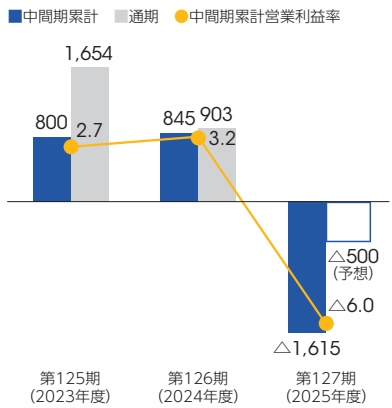
連結業績ハイライト

■ 売上高 (単位：百万円)



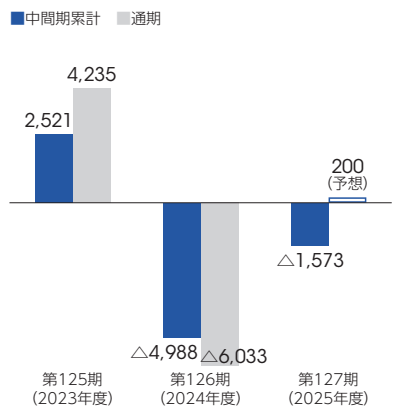
■ 営業利益 (単位：百万円)

● 営業利益率 (単位：%)



■ 親会社株主に帰属する

当期純利益 (単位：百万円)



## TOPICS 01

### 新製品のご紹介 SL-750RfⅢ

New



SL-500RfⅢ・SL-600RfⅢに引き続き、新エンジンを搭載したSL-750RfⅢを発売開始いたしました。高いフレーン性能、作業効率と快適性、安全性向上を実現しながら環境に配慮したラフテレーンクレーンとなります。

今後も業界No.1の安全性の実現と環境に配慮した製品の開発を目指してまいります。

#### 主な特徴

- 最新の排出ガス規制に適合したエンジンを搭載
- 最新の走行安全機能を搭載  
クリアランスソナー&サラウンドビューシステム  
坂道発進補助装置、LEDアクセサリライト

## TOPICS 02

### 新任社外取締役のご挨拶

このたび、創業130周年という節目の年に当社の社外取締役（監査等委員）に就任した弁護士の本元有香と申します。これまでの弁護士として企業法務をはじめとする幅広い実務に関わった経験を活かし、客観的かつ独立した視点で、取締役会の監督機能や実効性向上に努めるとともに、経営の透明性と健全性の維持・向上に尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 主な略歴

2008年12月 第二東京弁護士会登録  
マトリックス国際法律事務所入所  
2024年 7月 真法律会計事務所 パートナー

2025年 6月 本元有香法律事務所開設  
2025年 6月 当社取締役役に就任



社外取締役監査等委員  
本元 有香

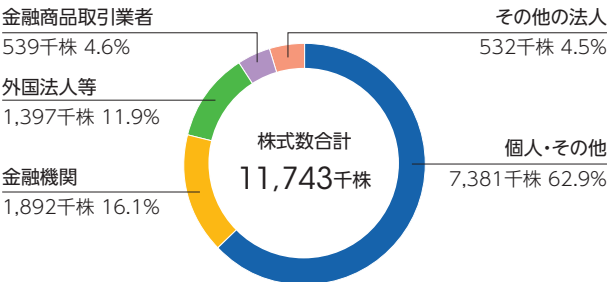
■ 会社概要

商号 株式会社 加藤製作所  
英文商号 KATO WORKS CO., LTD.  
創業 1895年 (明治28年)  
設立 1935年1月 (昭和10年1月)  
本社 東京都品川区東大井1丁目9番37号

■ 株式の状況

発行可能株式総数 46,800,000株  
発行済株式総数 11,354,080株  
(自己株式389,507株を除く。)  
株主総数 10,970名

■ 株式の所有者別状況



※ 個人・その他には自己株式389,507株が含まれております。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆さま向けのIR情報をはじめ最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報発信を行っております。

<https://www.kato-works.co.jp/>

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	652	5.75
清原達郎	575	5.07
株式会社りそな銀行	573	5.05
加藤公康	362	3.19
SIX SIS LTD.	272	2.40
加藤製作所従業員持株会	243	2.15
日本生命保険相互会社	228	2.01
住友生命保険相互会社	186	1.64
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	107	0.95
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	106	0.94

(注) 持株比率は、自己株式 (389,507株) を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関 (同連絡先)	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 ☎0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00-17:00)